



萩原朔太郎  
大全2022

第1部

対談 「初版本の魅力―朔太郎と群馬の詩人たち」

出演 ● 川島 幸希 (秀明大学学長・理事長、近代文学研究者)  
松浦 寿輝 (詩人・作家・東京大学名誉教授・朔太郎研究会会長)

リーディングシアター「さんになふたくみ」

出演 ● 東出昌大 (俳優) 柳沢 三千代 (声優) 村山朋果 (俳優) 富沢 春斗 (俳優)  
● 富井 大遙 (俳優) 雨宮 潤 (俳優) 萩原 朔美 (前橋文学館館長) ほか  
演出・脚本 ● 生方 保光 (劇団ザ・マルク・シアター主宰)  
音楽 ● 荒木 聡志

第2部

# 謎めぐり 「月に吠える」の 事件簿

前橋市市制施行130周年記念  
第50回  
朔太郎忌

2022年  
5/14(土)

昌賢学園まえばしホール

前橋市南町3-62-1

小ホール(定員600名様 自由席)

13:30開演(開場12:30)

チケット1,000円(観覧券1回分付) プレイガイド:前橋文学館

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、内容を変更させていただく場合があります。

申し込み

4月8日(金)から開始  
①前橋文学館の窓口でチケット購入  
②文学館ホームページ上の朔太郎忌お知らせより(裏面のQRコードでも)  
(チケット代は当日現金で払い込み、チケットと引き換えます)

お問い合わせ | 朔太郎忌実行委員会 (水と緑と詩のまち前橋文学館内)



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

TEL:027-235-8011 FAX:027-235-8512  
https://www.maebashibungakukan.jp  
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10

主催 朔太郎忌実行委員会  
共催 前橋市、(一財)前橋市まちづくり公社、朔太郎研究会、前橋文学館友の会  
後援 朝日新聞社前橋総局、NHK前橋放送局、FM GUNMA、共同通信社前橋支局、群馬テレビ、  
産経新聞社前橋支局、JCOM群馬、時事通信社前橋支局、上毛新聞社、高崎前橋経済新聞、  
東京新聞前橋支局、表象文化論学会、毎日新聞前橋支局、前橋観光コンベンション協会、  
まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所、読売新聞前橋支局  
協賛 群馬詩人クラブ、群馬ペンクラブ

Design & Illustration studioivision 居城達志

# 事件簿 「月に吠える」の謎めぐり



詩人、萩原朔太郎が亡くなったのは、1942(昭和17)年5月11日、今年で没後80年を迎えます。朔太郎の生誕の地前橋では、例年命日に合わせて、近代詩史に大きな足跡を残した朔太郎を偲ぶ「朔太郎忌」を開催しています。今回は、第一詩集『月に吠える』の初版本にまつわるエピソードに焦点を当て、初版本に込められた詩人の想いを探ります。

## 第1部

### 対談 「初版本の魅力」—朔太郎と群馬の詩人たち—

文学者が初版に込めた想いを読み解き、あらゆる文学者にとっての初版本とは何であるのかを語っていただきます。

Kawashima Koki  
**川島 幸希**

1960年東京都生まれ。学校法人秀明学園理事長、秀明大学学長。日本近代文学の研究家で初版本の蒐集家。萩原朔太郎の第一詩集『月に吠える』(無削除版)を7冊所蔵し、うち1冊を昨年前橋文学館に寄贈。主な著書、『英語教師 夏目漱石』(2000年)、『初版本講義』(2002年)、『初版本解読』(2021年)など。

Matsunaga Hisaki  
**松浦 寿輝**

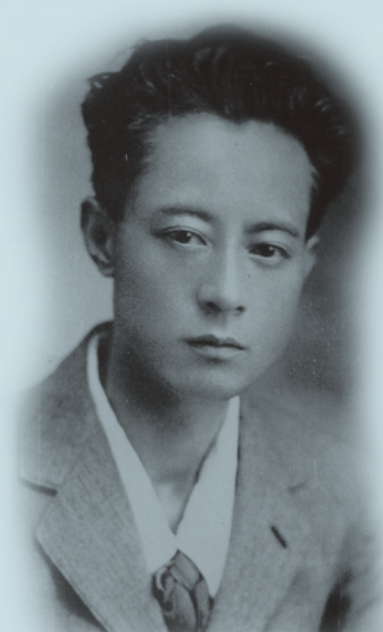
1954年東京都生まれ。詩人、作家。2016年より萩原朔太郎研究会会長。萩原朔太郎賞選考委員。東京大学名誉教授(フランス文学・表象文化論)。2019年日本芸術院賞受賞。日本芸術院会員。主な著書、小説『花腐し』(2000年芥川賞)、評論『知の庭園—一九世紀パリの空間装置』(2000年芸術選奨文部大臣賞)、詩集『吃水都市』(2009年萩原朔太郎賞)、小説『名誉と恍惚』(2017年谷崎潤一郎賞・ドゥマゴ文学賞)など。

## 第2部

### リーディングシアター 「さんになふたくみ」

演出・脚本 ● 生方保光 (劇団ザ・マルク・シアター主宰)

詩集『月に吠える』が刊行されるまでには、「美しい詩画集」を創ろうとして挿画を依頼した田中恭吉の死や、国の検閲による発売禁止を免れるための詩2編の削除など様々な出来事がありました。その詩集刊行の謎をリーディングシアターで紐解いていきます。



会場図



### チケット 申し込み方法

<朔太郎忌申込サイト>  
右のQRコードを読み取り、  
お申し込みください



- 2022年4月8日(金)午前9時から受け付けます。
- 座席指定はできません。
- チケットは当日、会場にて入場料1,000円(現金のみ)と引き換えにお願いします。半券は、2023年1月までの期間に観覧券としてご利用になれます。
- 申し込み後のキャンセルは前橋文学館までお電話ください。
- イベント中止の場合は前橋文学館が払い戻しをいたします。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

TEL:027-235-8011

FAX:027-235-8512  
https://www.maebashibungakukan.jp